

## 平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	元気がおいしい南房総 女性力を磨く“良い食”起業家プロジェクト		
(2) 実施団体名	南房総“良い食”起業協議会	(3) 対象地域	千葉県南房総地域
(4) 代表団体名	株式会社とみうら	(5) 推薦団体名	千葉県南房総市
(6)実施した取組の内容	<b>取組①</b>	アカデミー事業開始	
	実施主体	(株)とみうら(観光協会・内房商工会・朝夷(あさい)商工会・房州ちくら漁協・JA安房・(株)富楽里(ふらり)とみやま・(株)鄙の里(ひなのさと)・白浜レディース・(株)千倉黒潮物産センター・(株)丸山町振興公社・上区自治会・安房拓心高校・南房総市・(有)M&D研究所)	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: 起業家意識向上のための研修会開催とマーケティング戦略立案</li> <li>実施時期: 平成20年9月</li> <li>実施場所: 南房総市内</li> <li>取組の目的: やる気ある女性による「女性力起業家アカデミー」を開校し、起業に向けた基礎知識の学習、売れる商品づくりと、売れるためのマーケティング戦略を立案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: 起業家意識向上研修会開催とマーケティング戦略立案</li> <li>実施時期: 平成20年9月～平成21年2月(研修会・マーケティング戦略立案)</li> <li>実施場所: 南房総市役所、三芳公民館</li> <li>取組の結果: 生産者・宿泊業者から主婦や移住者まで、地域素材を活かして商品開発に取組む意欲ある144人が集まり、バラエティに富んだアカデミーが立上がった。研修会により起業に向け学んだことで起業意欲が高まった。当地域での商品開発経験が深いマーケティング専門家の参画により、起業に向けた「売れる商品づくり」のマーケティング戦略が事業終了時に立案される。</li> </ul>
	<b>取組②</b>	アカデミー事業展開	
	実施主体	(株)とみうら・(株)富楽里とみやま・(株)鄙の里・白浜レディース・(株)千倉黒潮物産センター・(株)丸山町振興公社・上区自治会・安房拓心高校	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: 地域素材を活用した新製品の創出と試食会の開催</li> <li>実施時期: 平成20年10月～平成21年2月</li> <li>実施場所: 南房総市内</li> <li>取組の目的: マーケティング戦略に基づき商品を選定し、専門家から加工技術を習得しながら試作品を作成して、地域ごとに競争力のある新製品を作り上げ、新製品試食会の開催と成分分析を実施し、市場性を測定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: 地域素材を活用した新製品の創出と試食会の開催</li> <li>実施時期: 平成20年10月～平成21年2月(試作品開発、調理講習会、試食会)</li> <li>実施場所: 南房総市役所、三芳公民館、道の駅とみうら</li> <li>取組の結果: マーケティング戦略に基づき、素材・商品選定、味付・形状等を検討しながらの試作品開発を通じ、消費者の求める「良い食」商品を作る意識づけがなされた。素材や商品によりグループを形成したため地域間の交流が促進され、27種の試作品が誕生した。安房拓心高校の創意工夫にあふれる試作品は大人たちの開発意識を刺激し、生徒たちも創作意欲が高められた。協議会員による試食会と2月実施予定の食品成分分析により、試作品の特性・機能性をさらに判断する。</li> </ul>
	<b>取組③</b>	実証実験	
実施主体	(株)とみうら(観光協会・内房商工会・朝夷商工会・房州ちくら漁協・JA安房・(株)富楽里とみやま・(株)鄙の里・白浜レディース・(株)千倉黒潮物産センター・(株)丸山町振興公社・上区自治会・安房拓心高校・南房総市・(有)M&D研究所)		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: テストマーケティング実施による起業家候補の絞込みと次年度事業試案作成</li> <li>実施時期: 平成21年1月～平成21年2月</li> <li>実施場所: 南房総市内</li> <li>取組の目的: 観光客・専門家・市民に対する試食会を開催して評価し、実践販売力強化を行う。評価結果を基に起業家候補の絞込み、次年度事業展開試案を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容: テストマーケティング・起業家候補絞込みと事業試案作成</li> <li>実施時期: 平成21年1月～平成21年2月(試食会開催・料理の試験提供)</li> <li>実施場所: 道の駅とみうら、道の駅潮風王国、高家(たかべ)神社、宿泊施設</li> <li>アンケート対象者: 観光客200名、専門家7名、市民100名</li> <li>取組の結果: テストマーケティング(一部2月実施予定)の評価により、試作品と起業家候補の絞込みを行い、次年度起業に向けて商品化する12品を決定する。絞込まれた試作品に対応した事業化試案を作成する。</li> </ul>	

(7)実施体制	平成20年度の取組実施における体制・役割分担		取組の実施を踏まえた反省点	
	<p>●南房総“良い食”起業協議会：下記15団体から形成され、役割を分担</p> <p>・南房総市観光協会(主担当：取組①、③)：協議会全体の統括。実証実験に参画。</p> <p>・(株)とみうら(主担当：取組①、②、③)：協議会代表団体。事務局として全体運営を行い、富浦地域作業部会の運営を行う。実証実験に参画。</p> <p>・JA安房・房州ちくら漁協・内房商工会・朝夷商工会(主担当：取組①、③)：実証実験に参画。</p> <p>・富楽里とみやま・鄙の里・白浜レディース・千倉黒潮物産センター・丸山町振興公社・上区自治会・安房拓心高校(主担当：取組①、②、③)：地域ごとの作業部会の運営。実証実験に参画。</p> <p>・南房総市(主担当：取組①、③)：協議会運営支援。実証実験に参画。</p> <p>・M&amp;D研究所(主担当：取組①、②、③)：コンサルタントとして事業支援。</p>		<p>・取組①：アカデミー立上げ及び起業意識向上のための講習会は、(株)とみうらをはじめとする協議会員により実施された。千葉県安房農林振興センターが本事業に途中参画し、地域ブランド育成について協力体制が強化された。</p> <p>・取組②：地域別に作業部会を立上げ予定だったが、参加希望者が多数であったため、素材と加工の方向性により作業部会を設立した。そのため、地域ごとに作業部会を運営予定だった富楽里とみやま・鄙の里・白浜レディース・千倉黒潮物産センター・丸山町振興公社・上区自治会については作業部会を担当せず、(株)とみうらが一括して作業部会を担当することとなった。その結果、作業部会参加者の地域を越えた連携が促進され、新たな参加者間の協力体制が築かれた。</p> <p>・取組③：テストマーケティングでは観光協会の全面的な協力により、35店舗の宿泊施設において試作料理の試験提供が行われる予定である。</p> <p>・(株)とみうらの所掌事務が増加したものの、南房総市が運営を支援したため、順調に事業を遂行することができた。</p> <p>・(有)M&amp;D研究所の参画により、地域内で不足するマーケティングに基づいた商品開発の考え方が補われ、売れる商品作りのための商品開発手法を学ぶことができた。</p>	
(8)取組により得られた成果	○成果1→ アカデミー修了者数(第一期生)			
	H19		H20(当初予定していた目標)	
	起業家アカデミーは存在しない(0人)		新商品開発により起業家を育成する「女性力起業家アカデミー」の修了者数 50人	
	H20(実際に得られた成果)			
	<p>・アカデミー参加者を募集したところ、応募は189名であった。事業遂行途中で脱退者があったものの、マーケティングを学びながら商品開発に取り組んだ修了者数は144名となる予定である。当初目標に比べ3倍弱の人数であり、地域住民の新たな特産品開発への思いに合致した事業であったといえる。</p>			
	○成果2→ A:アカデミーモデルアイテム数 B:料理の取扱店数			
H19		H20(当初予定していた目標)		
A:アイテム、B:取扱店ともに存在しない(A:0、B:0店)		A:12アイテム(加工品:5品・料理レシピ:7レシピ)、B:30軒		
H20(実際に得られた成果)				
<p>・試作品は27品誕生したが、テストマーケティングの実施により絞込みを行い、加工品5アイテム、料理7アイテムの計12アイテムが起業候補となる予定である。</p> <p>・料理の試験提供については市内の宿泊施設35軒で行われる予定である。当地の観光最盛期は1～3月であるため、最盛期の観光客の声を聞くことができる。</p>				
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	<p>・アカデミー参加希望者が予想以上に多かったため、作業部会の人数が多数となったグループもあり、マーケティングに基づいた試作品開発指導が不足する場面が見られた。集中して起業家育成をするために、次年度においては参加者人数の絞込みを行うことを検討している。</p> <p>・本年度は当初予定通りに試作品完成の段階で終了した。来年度において起業候補にある試作品については製造手法検討や販路拡大など、商品化プロセスを実施する予定となっているが、経営面での知識が不足しているため、起業に向けた企業運営マネジメントについても学習する必要がある。</p> <p>・季節による原材料不足を解消するため、地域素材の貯蔵・一次加工手法の確立が必要である。</p> <p>・アカデミーには、商品開発に関連する疑問解決を補助したり、参加者と専門家を結びつけたりするコーディネート機能が求められているため、気軽に相談できる窓口機能が必要である。</p>			

	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度
(10)平成21年度以降の活動の見込み	<p>1.起業家アカデミーの継続・拡充(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絞り込まれた試作品の商品化と試験販売</li> <li>・2期生募集と新商品開発</li> <li>・起業への支援</li> </ul> <p>2.起業家サロンづくり(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アカデミー修了者の集い・活動の場作り</li> </ul> <p>3.空き公共施設の加工施設への転用(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品製造の場の確保</li> </ul> <p>4.地産地消の推進(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕畜連携による安全素材の生産</li> <li>・地場産品の学校給食利用</li> </ul> <p>5.中間支援組織との連携(H22年度)</p> <p>6.遊休農地バンクの創設(H22～23年度)</p> <p>7.プロモーション拠点の整備(H23年度)</p>	<p>1.起業家アカデミーの継続・拡充(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:(株)とみうら(協議会構成全団体)</li> <li>・H20年度に絞り込まれた試作品を商品化するため、製造加工技術の習得やパッケージ開発、販路拡大を行い、試験製造・販売するとともに、原料素材の貯蔵・一次加工手法の検討を行う。</li> <li>・商品化プロセスに移行できなかった試作品を中心に、作業部会員の少人数グループ編成を行い、起業家育成の効率を高めて商品化を目指す。</li> <li>・経営面の知識習得など起業に向けた支援と、販路開拓やプロモーションなどの販売支援を並行して行う。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額2,400万円)]</p> <p>2.起業家サロンづくり(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:(株)とみうら(協議会構成全団体)</li> <li>・アカデミー修了者が連携した活動や学ぶことができる場を設定してネットワークを形成し、事業成功や新たな事業挑戦を促進する。アカデミー修了者と専門家のコーディネート機能を検討する。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額220万円)]</p> <p>3.加工用機器の整備(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:南房総市</li> <li>・商品製造に不足する加工用機器を既存加工場等に設置し、安定的・効率的な製造を可能とする。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:無し(南房総市単独事業として実施予定)]</p> <p>4.地産地消の推進(H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:南房総市が主導し農業者・卸売市場・小売店を連携させる</li> <li>・堆肥利用促進による美味しく安全な作物栽培と、地域内流通体制の検討、地産地消PRを推進する。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:無し(南房総市単独事業として実施予定)]</p> <p>5.中間支援組織との連携(H22年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:創設を予定している広域的・業種横断的な新流通産業を創出する中間支援組織</li> <li>・地場産品や観光商品のブランド化と地域内外流通の活性化を行う中間支援組織を創設して連携し、新商品の効率的なプロモーション・販売を図る。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:無し(H22年度までに組織を立上げ、南房総市の支援を受け実施予定)]</p> <p>6.耕作放棄地対策の実施(H22～23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:南房総市</li> <li>・地域素材の安定供給を図るため、耕作放棄地を活用して生産を促進する。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:国の中山間地域対策関係事業を獲得し実施予定]</p> <p>7.プロモーション拠点の整備(H23年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体:南房総市</li> <li>・都市部に流通拠点を開設し、地場産品の販売を促進する。</li> </ul> <p>[活用を希望する制度:国の農商工連携関係事業を獲得し実施予定]</p>

# 元気がおいしい南房総 女性力を磨く“良い食”起業家プロジェクト(千葉県南房総地域)

平成20年度 地方の元気再生事業  
事業実施調書 参考資料

—南房総“良い食”起業家協会—

## ◆主な実施取組の内容◆

### 取組① 女性力起業家アカデミーの展開

- ・地域の素材を活用した特産品開発に熱意ある市民の募集
- ・夢中で商品開発に取り組む女性の講演会開催
- ・取組みたい素材・加工手法ごとにグループ化し、マーケティングに基づき商品開発  
→9グループによる試作品開発、専門家による指導、グループ内・外連携の促進

キックオフ  
西下はつ代氏講演  
「ブルーベリーとの出会いと  
起業家への道」

調理法講習会

グループ別による  
試作品開発協議

コンサルタントを交えた  
試作品の相互評価

グループ編成 (人数)	農産物A《各種野菜》(12)	農産物B《蚕豆・落花生》(15)	農産物C《漬物》(12)				
	海産物(6)	デザート(47)	鮭(12)	ハーブ(5)	料理(27)	拓心高校(8)	

- ・43団体(生産者・加工業・料理研究会・主婦・移住者など)・144人のアカデミー参加。
- ・地元素材を活かした27種の試作品が誕生。
- ・町村合併前の地域を越えた連携が生まれ、新たな協力体制がつけられた。

### 取組② テストマーケティングと起業家育成

- ・協議会員、観光客、料理・販売専門家による試食と評価
- ・料理の試験提供によるアンケート調査
- ・起業化に向けた地域商品完成への課題整理研修

商品化への課題整理研修  
「“良い食”起業家育成のために<課題を整理>」



協議会による試食会での評価



- ・商品化へ向けた試作品の絞り込み。
- ・次年度商品化への試案作成。

## ◆取組実施による成果・今後の展開◆

- 市民の潜在的な特産品開発への熱意を引き出し、試作品として具現化することができた。
- 異なる文化が交わることにより相乗効果が発揮され、新たな製品が開発された。
- マーケティングに基づいた商品開発により、起業化への道を開くことができた。

今後の展開

- 試作品を「商品」にする取組・・・加工技術の取得やパッケージ作成、販路確保・拡大と試験販売を実施
- アカデミー事業の継続・・・新たな商品開発への取組
- 起業化支援・・・起業手続・デザイン・プロモーションの支援と人材育成
- 起業家サロンの立上げ・・・アカデミー修了者のネットワーク形成と学び・活動の場の設定